

平成29年3月1日

原子力規制委員会

委員長 田中 俊一 様

柏崎市長 櫻井 雅浩

### 要請

貴職におかれましては原子力発電所、原子力施設の安全確保等につきご精励いただいておりますこと心より感謝申し上げます。

つきましては、大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、下記事項について要請いたしますのでご高配賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 貴委員会2015年2月の審査会合において、東京電力ホールディングス株式会社が柏崎刈羽原子力発電所免震重要棟の耐震性について説明した折、基準地震動Ss1～7に基づく評価で、2013年データで基準を満たしたものが7つのうち2つにとどまったにもかかわらず、

「一方、非常に大きな長周期成分を含む一部の基準地震動に対する評価としては通常の免震設計クライテリアを満足しない場合があり、」と表現しました。きわめて不正確な言葉遣いであると認識しております。

東京電力からは、この理由と真相について納得できる明確な説明が得られておりません。こういったものが、東京電力の「体質」によるものでないかと危惧しております。真相究明につき、東京電力ホールディングス株式会社に対して指導力を発揮していただきたいと存じます。

- 2 柏崎刈羽原子力発電所免震重要棟の有する面積が約4,000㎡であるにもかかわらず、代替の5号機緊急時対策所面積は約140㎡であると聞きます。福島第一原子力発電所事故時の免震重要棟における映像を思い出すとき、その様子は到底余裕あるものとは感じられませんでした。免震重要棟の機能が緊急時対策所で代替できるとするならば、その基準や根拠をわかりやすくご説明いただきたいと存じます。

以上